第　3　章

水 質 汚 濁

第3章　水 質 汚 濁

第 1 節　　市内主要河川の水質調査

本市域を流れる主な河川には、斎川・下川・日高川・熊野川・王子川・楠井川があり、いずれも二級河川である。

令和7年度は、これら6河川の6地点（図1）において、4回の水質調査を実施した。調査項目は、水素イオン濃度（pH）・溶存酸素量（DO）・生物化学的酸素要求量（BOD）・化学的酸素要求量（COD）・浮遊物質量（SS）・大腸菌数等の14項目で、測定結果は（表1～6）のとおりである。また、日高川においては、全亜鉛等の3項目についても、2回の調査を実施している。

過去の年平均値については、（表7～12）を参照のこと。

◇pHについては、最小値は下川の6．6、最大値は熊野川の9．3であった。また、年平均値の最小値は下川の6．8、最大値は熊野川の8．2であった。高くなる理由としては、藻等の生息、海水の混入、塩基性の温泉等の混入、人為的影響としてコンクリートの溶出や人工廃水の中和に用いる石灰岩や消石岩などがある。その他、生活排水などによっても影響がある。

◇BODについては、最大値は下川の4．2mg／ℓ、年平均値の最大値は下川の2．3mg／ℓであった。

◇CODについては、最大値は下川の9．4mg／ℓであった。生活排水などによる有機性物質が多い水では、その分解に必要な酸素量が多く必要になることが原因と考えられる。

◇SSについては、最大値は王子川の9．5mg／ℓ、年平均値の最大値も王子川の5．2mg／ℓであった。王子川でSSの値が高くなった原因としては、水量が少ないことが原因ではないかと考えられる。

◇DOについては、最小値は王子川の6．0mg／ℓ、年平均値の最小値は下川の7．2mg／ℓであった。水温によって水に溶ける酸素量が変わり、水温が低いほどよく溶ける。

◇大腸菌数については、最大値は下川の 13,200CFU／100mℓ、年平均値の最大値も下川の 3，711CFU／100mℓであった。この値については、生活雑排水等の混入などにより高い値を示す。

◇全窒素については、最大値は下川の 5.49 mg／ℓであった。この値が高くなると、微生物（プランクトン）などが異常繁殖し、魚介類などが死滅する。

◇全リンの最大値は、下川の0．68mg／ℓであった。この値が高くなると、全窒素と同様の現象が起きる。

◇その他の項目については、定量下限値未満及び検出されなかった。

（図１）市内主要河川の採取地点図



（表1）河川の水質調査結果一覧表

河川名　：　斎川（採水地点＝斎橋）①

調査年月日	単　位	R7.5.20	R7.8.5	R7.11.12	R8.2.9
時　　刻		9時31分	10時00分	9時15分	9時30分
気　　温	℃	29.5	30.0	14.0	4.0
水　　温	℃	29.1	30.0	14.1	5.9
位　　置		流心部	流心部	流心部	流心部
色　　相		乳白色	無色透明	無色透明	淡黄色
濁　　り		微	なし	なし	なし
臭　　気		無臭	無臭	無臭	無臭
pH		7.3	7.1	7.2	7.4
Ｂ　Ｏ　Ｄ	mg／ℓ	0.6	1.8	検出されず	0.8
Ｃ　Ｏ　Ｄ	mg／ℓ	2.4	1.4	2.2	1.4
Ｓ　　Ｓ	mg／ℓ	4.8	検出されず	2.2	0.5
Ｄ　　Ｏ	mg／ℓ	7.5	7.0	8.1	8.8
大腸菌数	CFU／100mℓ	60	12	460	260
カドミウム	mg／ℓ	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
シ　ア　ン	mg／ℓ	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
有機リン	mg／ℓ	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
鉛	mg／ℓ	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
六価クロム	mg／ℓ	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
ヒ　　素	mg／ℓ	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
全　窒　素	mg／ℓ	0.53	0.41	0.78	0.28
全　リ　ン	mg／ℓ	0.05	検出されず	検出されず	検出されず

（表2）河川の水質調査結果一覧表

河川名 ： 下川（採水地点＝中島橋）②

調査年月日	単 位	R7.5.20	R7.8.5	R7.11.12	R8.2.9
時　　刻		9時49分	10時25分	9時30分	9時45分
気　　温	℃	25.5	31.0	14.0	4.0
水　　温	℃	23.2	30.0	13.5	3.5
位　　置		流心部	流心部	流心部	流心部
色　　相		黄白色	無色透明	無色透明	淡黄色
濁　　り		微	なし	なし	なし
臭　　気		無臭	無臭	無臭	無臭
pH		6.7	7.0	6.6	6.7
Ｂ　Ｏ　Ｄ	mg／ℓ	2.5	1.6	0.8	4.2
Ｃ　Ｏ　Ｄ	mg／ℓ	9.4	1.8	3.2	8.6
Ｓ　　Ｓ	mg／ℓ	5.7	1.7	検出されず	検出されず
Ｄ　　Ｏ	mg／ℓ	7.5	7.8	6.4	7.0
大腸菌数	CFU／100mℓ	820	182	640	13,200
カドミウム	mg／ℓ	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
シ　ア　ン	mg／ℓ	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
有機リン	mg／ℓ	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
鉛	mg／ℓ	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
六価クロム	mg／ℓ	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
ヒ　　素	mg／ℓ	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
全窒素	mg／ℓ	1.63	1.18	1.40	5.49
全リン	mg／ℓ	0.36	0.08	0.16	0.68

（表3）河川の水質調査結果一覧表

河川名 ： 日高川（採水地点＝野口新橋）③

調査年月日	単 位	R7.5.20	R7.8.5	R7.11.12	R8.2.9
時　　刻		10時08分	10時50分	9時55分	10時10分
気　　温	℃	24.1	31.0	14.0	6.1
水　　温	℃	20.8	28.0	14.7	6.1
位　　置		流心部	流心部	流心部	流心部
色　　相		淡茶色	無色透明	無色透明	無色透明
濁　　り		微	なし	なし	なし
臭　　気		無臭	無臭	無臭	無臭
pH		7.2	7.0	6.9	7.1
Ｂ　Ｏ　Ｄ	mg／ℓ	0.6	1.5	検出されず	0.9
Ｃ　Ｏ　Ｄ	mg／ℓ	1.9	1.4	1.4	1.4
Ｓ　　Ｓ	mg／ℓ	3.2	検出されず	検出されず	0.5
Ｄ　　Ｏ	mg／ℓ	7.0	7.1	7.4	8.2
大腸菌数	CFU／100mℓ	48	20	148	1,132
カドミウム	mg／ℓ	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
シ　ア　ン	mg／ℓ	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
有機リン	mg／ℓ	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
鉛	mg／ℓ	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
六価クロム	mg／ℓ	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
ヒ　　素	mg／ℓ	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
全 窒 素	mg／ℓ	0.24	0.22	0.33	0.26
全　リ　ン	mg／ℓ	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
全 亜 鉛	mg／ℓ		検出されず		検出されず
ノニルフェノール	mg／ℓ		検出されず		検出されず
直鎖ｱﾙｷﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝｽﾙﾎﾝ酸及びその塩	mg／ℓ		検出されず		検出されず

（表4）河川の水質調査結果一覧表

河川名 ： 熊野川（採水地点＝第二釜屋橋）④

調査年月日	単 位	R7.5.20	R7.8.5	R7.11.12	R8.2.9
時　　刻		10時24分	11時20分	10時15分	10時30分
気　　温	℃	26.5	31.0	14.0	4.0
水　　温	℃	25.0	32.0	16.0	5.2
位　　置		流心部	流心部	流心部	流心部
色　　相		乳白色	淡黄色	淡黄色	淡黄色
濁　　り		微	なし	なし	なし
臭　　気		無臭	無臭	無臭	無臭
pH		9.3	8.5	7.6	7.4
ＢＯＤ	mg／ℓ	1.3	1.6	検出されず	1.1
ＣＯＤ	mg／ℓ	5.8	3.8	3.0	2.8
ＳＳ	mg／ℓ	7.8	2.5	4.0	検出されず
ＤＯ	mg／ℓ	7.6	9.9	8.2	10.1
大腸菌数	CFU／100mℓ	760	56	170	1,280
カドミウム	mg／ℓ	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
シアン	mg／ℓ	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
有機リン	mg／ℓ	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
鉛	mg／ℓ	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
六価クロム	mg／ℓ	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
ヒ　　素	mg／ℓ	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
全窒素	mg／ℓ	0.58	0.42	0.55	0.50
全リン	mg／ℓ	0.11	0.06	0.05	0.06

（表５）河川の水質調査結果一覧表

河川名 ： 王子川（採水地点＝塩屋町北塩屋1474番地1先）⑤

調査年月日	単 位	R7.5.20	R7.8.5	R7.11.12	R8.2.9
時　　刻		10時45分	11時40分	10時35分	10時45分
気　　温	℃	27.5	32.0	14.0	4.0
水　　温	℃	25.6	33.0	14.0	3.4
位　　置		流心部	流心部	流心部	流心部
色　　相		淡茶色	淡黄色	淡黄色	淡黄色
濁　　り		微	なし	なし	なし
臭　　気		無臭	無臭	無臭	無臭
pH		7.3	7.3	7.3	7.8
ＢＯＤ	mg／ℓ	0.7	1.3	0.6	0.8
ＣＯＤ	mg／ℓ	4.2	6.6	4.4	5.8
ＳＳ	mg／ℓ	5.3	4.8	9.5	1.3
ＤＯ	mg／ℓ	7.4	6.0	7.2	9.2
大腸菌数	CFU／100mℓ	34	82	580	54
カドミウム	mg／ℓ	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
シアン	mg／ℓ	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
有機リン	mg／ℓ	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
鉛	mg／ℓ	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
六価クロム	mg／ℓ	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
ヒ　　素	mg／ℓ	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
全窒素	mg／ℓ	0.66	0.85	0.80	0.57
全リン	mg／ℓ	0.06	0.10	0.06	検出されず

（表6）河川の水質調査結果一覧表

河川名 ： 楠井川（採水地点＝濱側橋）⑥

調査年月日	単 位	R7.5.20	R7.8.5	R7.11.12	R8.2.9
時　　刻		11時10分	12時15分	11時15分	11時14分
気　　温	℃	26.5	32.0	15.0	4.0
水　　温	℃	23.2	32.0	16.0	6.6
位　　置		流心部	流心部	流心部	流心部
色　　相		淡茶色	無色透明	無色透明	無色透明
濁　　り		なし	なし	なし	なし
臭　　気		無臭	無臭	無臭	無臭
pH		7.4	7.1	7.2	7.5
ＢＯＤ	mg／ℓ	0.9	1.7	検出されず	0.7
ＣＯＤ	mg／ℓ	5.0	3.8	2.8	1.8
ＳＳ	mg／ℓ	2.7	0.5	検出されず	検出されず
ＤＯ	mg／ℓ	7.0	6.2	7.2	9.5
大腸菌数	CFU／100mℓ	98	340	1,000	142
カドミウム	mg／ℓ	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
シアン	mg／ℓ	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
有機リン	mg／ℓ	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
鉛	mg／ℓ	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
六価クロム	mg／ℓ	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
ヒ　　素	mg／ℓ	検出されず	検出されず	検出されず	検出されず
全窒素	mg／ℓ	0.75	0.93	1.25	0.43
全リン	mg／ℓ	0.05	検出されず	検出されず	検出されず

（表7）斎川の水質（年平均値）

測定地点：斎橋

項目　単位 / 年度	pH	BOD mg／ℓ	S S mg／ℓ	D O mg／ℓ	大腸菌群数MPN／100mℓ ※大腸菌数CFU／100mℓ
R3	7.4	0.8	1.6	7.7	70,300
R4	7.4	0.9	1.4	8.0	15,260
R5	7.4	0.4	2.0	6.8	963
R6	7.6	0.4	3.9	8.0	700
R7	7.3	1.1	2.5	7.9	198

※R4から測定方法が、大腸菌群数から大腸菌数に変更

（表8）下川の水質（年平均値）

測定地点：中島橋

項目　単位 / 年度	pH	BOD mg／ℓ	S S mg／ℓ	D O mg／ℓ	大腸菌群数MPN／100mℓ ※大腸菌数CFU／100mℓ
R3	7.1	2.4	2.5	7.5	182,000
R4	7.0	1.4	3.1	7.3	583
R5	7.1	1.0	6.9	7.0	1,193
R6	7.2	1.7	5.7	8.5	925
R7	6.8	2.3	3.7	7.2	3,711

※R4から測定方法が、大腸菌群数から大腸菌数に変更

（表9）日高川の水質（年平均値）

測定地点：野口新橋

項目　単位 / 年度	pH	BOD mg／ℓ	S S mg／ℓ	D O mg／ℓ	大腸菌群数MPN／100mℓ ※大腸菌数CFU／100mℓ
R3	7.1	1.4	1.6	7.7	4,330
R4	7.1	0.8	1.0	8.6	31
R5	7.1	0.3	0.6	6.9	45
R6	7.4	0.4	2.1	7.5	137
R7	7.1	1.0	1.9	7.4	337
環境基準	6.5～8.5	2以下	25以下	7.5以上	300以下

※R4から測定方法が、大腸菌群数から大腸菌数に変更

（表10）熊野川の水質（年平均値）

測定地点：第二釜屋橋

項目　単位 年度	pH	BOD mg／ℓ	S S mg／ℓ	D O mg／ℓ	大腸菌群数MPN／100mℓ ※大腸菌数CFU／100mℓ
R3	9.5	2.0	4.5	8.3	3,008
R4	9.8	1.5	3.6	12.2	150
R5	9.2	0.9	5.2	9.1	347
R6	8.3	1.3	5.8	9.2	1,900
R7	8.2	1.3	4.8	9.0	567

※R4から測定方法が、大腸菌群数から大腸菌数に変更

（表11）王子川の水質（年平均値）

測定地点：塩屋町北塩屋1474番地1先

項目　単位 年度	pH	BOD mg／ℓ	S S mg／ℓ	D O mg／ℓ	大腸菌群数MPN／100mℓ ※大腸菌数CFU／100mℓ
R3	7.6	5.3	3.6	7.1	9,300
R4	7.5	1.1	7.1	7.0	106
R5	7.5	0.6	17.2	7.0	568
R6	7.4	1.3	18.8	7.2	852
R7	7.4	0.9	5.2	7.5	188

※R4から測定方法が、大腸菌群数から大腸菌数に変更

（表12）楠井川の水質（年平均値）

測定地点：濱側橋

項目　単位 年度	pH	BOD mg／ℓ	S S mg／ℓ	D O mg／ℓ	大腸菌群数MPN／100mℓ ※大腸菌数CFU／100mℓ
R3	7.8	1.0	2.0	8.1	14,200
R4	7.6	0.9	2.7	8.7	6,038
R5	7.4	0.5	2.4	6.8	335
R6	7.5	0.7	2.9	7.6	958
R7	7.3	1.1	1.6	7.5	395

※R4から測定方法が、大腸菌群数から大腸菌数に変更

第 2 節　　水質汚濁に係る環境基準

昭和46年12月28日
環境庁告示　第59号
改正　令7環告35

人の健康の保護に関する環境基準（別表１）

基準値							
カドミウム	全シアン	鉛	六価クロム	砒素	総水銀	アルキル水銀	ＰＣＢ
0.003mg/L以下	検出されないこと	0.01mg/L以下	0.02mg/L以下	0.01mg/L以下	0.0005mg/L以下	検出されないこと	検出されないこと

基準値							
ジクロロメタン	四塩化炭素	1,2-ジクロロエタン	1,1-ジクロロエチレン	シス-1,2-ジクロロエチレン	1,1,1-トリクロロエタン	1,1,2-トリクロロエタン	トリクロロエチレン
0.02mg/L以下	0.002mg/L以下	0.004mg/L以下	0.1mg/L以下	0.04mg/L以下	1mg/L以下	0.006mg/L以下	0.01mg/L以下

基準値							
テトラクロロエチレン	1,3-ジクロロプロペン	チウラム	シマジン	チオベンカルブ	ベンゼン	セレン	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素
0.01mg/L以下	0.002mg/L以下	0.006mg/L以下	0.003mg/L以下	0.02mg/L以下	0.01mg/L以下	0.01mg/L以下	10mg/L以下

基準値		
ふっ素	ほう素	1,4-ジオキサン
0.8mg/L以下	1mg/L以下	0.05mg/L以下

※　１）基準値は年間平均値とする。ただし、全シアンに係る基準値については最高値とする。
　　２）「検出されないこと」とは、測定方法の項に掲げる方法により測定した場合において、その結果が、該当方法の定量限界を下回ることをいう。別表2において同じ。
　　３）海域については、ふっ素及びほう素の基準値は適用しない。
　　４）硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素の濃度は、規格K0102-2　15.3、15.4、15.6、15.7又は15.8により測定された硝酸イオンの濃度に換算係数0.2259を乗じたものと規格K0102-2　14.2、14.3又は14.4により測定された亜硝酸イオンの濃度に換算係数0.3045を乗じたものの和とする。

第 3 節　　水質汚濁に係る環境基準の水域類型の指定（御坊市関係）

＜河川（湖沼を除く。）＞

昭和４９年１０月１９日
告 示 第 ７ １ ３ 号

公害対策基本法（昭和４２年法律第１３２号）第９条第２項及び環境基準に係る水域及び地域の指定権限の委任に関する政令（昭和４６年政令第１５９号）第１項の規定により、別表水域の欄に掲げる公共用水域が該当する水域類型（水質汚濁に係る環境基準（昭和４６年環境庁告示第５９号）の別表２の２に掲げる類型をいう。）を同表該当類型の欄に掲げるとおり指定し、当該水域の該当類型に係る基準値の達成期間を同表達成期間の欄に掲げるとおり定める。

別表

水域の名称	水　　域	該当類型	達成期間	備　考
日高川水域	日高川 （天田橋から上流の水域）	海域Ａ	直ちに達成	

平成２６年１０月１０日
告 示 第 １ ２ ５ ４ 号

環境基本法（平成５年法律第９１号）第１６条第２項の規定により、別表水域の欄に掲げる公共用水域が該当する水域類型（水質汚濁に係る環境基準について（昭和４６年環境庁告示第５９号）別表２の１（１）イに掲げる類型をいう。）を同表該当類型の欄に掲げるとおり指定し、当該水域の該当類型に係る基準値の達成期間を同表達成期間の欄に掲げるとおり定める。

別表

水域の名称	水　　域	該当類型	達成期間	備　考
日高川水域	日高川 （天田橋から椿山ダムまでの水域）	生物Ｂ	直ちに達成	

＜海域＞

昭和５９年４月５日
告示第２４８号

公害対策基本法（昭和４２年法律１３２号）第９条第２項並びに環境基準に係る水域及び地域の指定権限の委任に関する政令（昭和４６年政令第１５９号）第１項の規定により、次の表の水域の欄に掲げる公共用水域が該当する水域類型（水質汚濁に係る環境基準（昭和４６年環境庁告示第５９号）の別表２の２に掲げる類型をいう。）を同表該当類型の欄に掲げるとおり指定し、当該水域の該当類型に係る基準値の達成期間を同表達成期間の欄に掲げるとおり定める。

別表

水域の名称	水　　域	該当類型	達成期間	備　考
御坊市及び美浜町の地先海域	別記の水域	海域Ａ	直ちに達成	

別記

紀伊日の御岬燈台と紀伊日の御岬燈台から徳島県伊島及び前島を経て蒲生田岬に至る直線の線上で紀伊日の御岬燈台から１，０００メートルの地点を結んだ直線、同地点から壁川﨑の北緯３３度５０分３１秒東経１３５度９分５８秒の地点を結んだ直線及び陸岸に囲まれた水域並びに日高川天田橋、西川西川大橋、西川西川小橋及び熊野川昭和橋の各下流の河川の区域に含まれる水域

生活環境の保全に関する環境基準

河川（湖沼を除く。）

ア

項目／類型	利用目的の適応性	基準値				
		水素イオン濃度（PH）	生物化学的酸素要求量（BOD）	浮遊物質量（SS）	溶存酸素量（DO）	大腸菌数
AA	水道1級 自然環境保全 及びA以下の欄に掲げるもの	6．5以上 8．5以下	1mg/ℓ以下	25mg/ℓ以下	7．5mg/ℓ以上	20CFU/ 100mℓ以下
A	水道2級 水産1級 及びB以下の欄に掲げるもの	6．5以上 8．5以下	2mg/ℓ以下	25mg/ℓ以下	7．5mg/ℓ以上	300CFU/ 100mℓ以下
B	水道3級 水産2級 及びC以下の欄に掲げるもの	6．5以上 8．5以下	3mg/ℓ以下	25mg/ℓ以下	5mg/ℓ以上	1,000CFU/ 100mℓ以下
C	水産3級 工業用水1級 及びD以下の欄に掲げるもの	6．5以上 8．5以下	5mg/ℓ以下	50mg/ℓ以下	5mg/ℓ以上	－
D	工業用水2級 農業用水 及びEの欄に掲げるもの	6．0以上 8．5以下	8mg/ℓ以下	100mg/ℓ以下	2mg/ℓ以上	－
E	工業用水3級 環境保全	6．0以上 8．5以下	10mg/ℓ以下	ごみ等の浮遊が認められないこと	2mg/ℓ以上	－

（注）1．自然環境保全　：　自然探勝等の環境保全
2．水道1級　：　ろ過等による簡易な浄水操作を行うもの
水道2級　：　沈殿ろ過等による通常の浄化操作を行うもの
水道3級　：　前処理等を伴う高度の浄化操作を行うもの
3．水産1級　：　ヤマメ、イワナ等貧腐水性水域の水産生物用並びに水産2級及び水産3級の水産生物用
水産2級　：　サケ科魚類及びアユ等貧腐水性水域の水産生物用及び水産3級の水産生物用
水産3級　：　コイ、フナ等、β－中腐水性水域の水産生物用
4．工業用水1級　：　沈殿等による通常の浄水操作を行うもの
工業用水2級　：　薬品注入等による高度の浄水操作を行うもの
工業用水3級　：　特殊の浄水操作を行うもの
5．環境保全　：　国民の日常生活（沿岸の遊歩等を含む。）において不快感を生じない限度

河川（湖沼を除く。）

イ

項目 類型	水生生物の生息状況の適応性	基準値		
		全亜鉛	ノニルフェノール	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩
生物A	イワナ、サケマス等比較的低温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域	0.03mg/L以下	0.001mg/L以下	0.03mg/L以下
生物特A	生物Aの水域のうち、生物Aの欄に掲げる水生生物の産卵場（繁殖場）又は幼稚仔の生育場として特に保全が必要な水域	0.03mg/L以下	0.0006mg/L以下	0.02mg/L以下
生物B	コイ、フナ等比較的高温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域	0.03mg/L以下	0.002mg/L以下	0.05mg/L以下
生物特B	生物A又は生物Bの水域のうち、生物Bの欄に掲げる水生生物の産卵場（繁殖場）又は幼稚仔の生育場として特に保全が必要な水域	0.03mg/L以下	0.002mg/L以下	0.04mg/L以下

海域

類型＼項目	利用目的の適応性	基準値				
		水素イオン濃度（PH）	化学的酸素要求量（COD）	溶存酸素量（DO）	大腸菌数	n−ヘキサン抽出物質（油分等）
A	水産1級 自然環境保全 及びB以下の欄に掲げるもの	7．8以上 8．3以下	2mg/ℓ以下	7．5mg/ℓ以上	20CFU/ 100mℓ以下	検出されないこと
B	水産2級 工業用水及び Cの欄に掲げるもの	7．8以上 8．3以下	3mg/ℓ以下	5mg/ℓ以上	−	検出されないこと
C	環境保全	7．0以上 8．3以下	8mg/ℓ以下	2mg/ℓ以上	−	−

（注）1．自然環境保全　：自然探勝等の環境保全
2．水産1級　：　マダイ、ブリ、ワカメ等の水産生物用及び水産2級の水産生物用
　水産2級　：　ボラ、ノリ等の水産生物用
3．環境保全　：　国民の日常生活（沿岸の遊歩等を含む。）において不快感を生じない限度

第 4 節　　水生生物による水質調査

川の汚れを判断する指標となる２９種類の水生生物があり、平成６年度から日高川河畔にて、水生生物による水質調査を行っている。

令和７年度は、御坊市市民環境課と公益財団法人御坊市ふれあいセンターとの共催で、和歌山県環境衛生研究センター職員を講師に迎え、野口小学校・藤田小学校の４年生児童を対象に、環境教育の一環として、日高川の水質を知ってもらうとともに、水辺をはじめとする自然に親しむことにより、環境保全について関心を育むことを目的とした「水辺教室」を令和７年８月１日に実施した。

当日は好天気に恵まれ、カワゲラ類やヒラタカゲロウ類、ヨコエビ類などを中心に、きれいな水に住んでいる水生生物を採取することができ、水質階級の判定では、**「水質階級Ⅰ（きれいな水）」**であることを確認した。

＜調査結果＞

指標生物 （見つかった指標生物に○印、数が多かった上位から２種類に●印をつけています）			
水質階級Ⅰ （きれいな水）	1	アミカ類	
	2	ナミウズムシ	
	3	カワゲラ類	●
	4	サワガニ	○
	5	ナガレトビケラ類	
	6	ヒラタカゲロウ類	●
	7	ブユ類	
	8	ヘビトンボ	
	9	ヤマトビケラ類	
	10	ヨコエビ類	●
水質階級Ⅱ （ややきれいな水）	11	イシマキガイ	
	12	オオシマトビケラ	
	13	カワニナ類	○
	14	ゲンジボタル	
	15	コオニヤンマ	
	16	コガタシマトビケラ類	
	17	ヒラタドロムシ類	
	18	ヤマトシジミ	
水質階級Ⅲ （きたない水）	19	イソコツブムシ類	
	20	タニシ類	
	21	ニホンドロソコエビ	
	22	シマイシビル	
	23	ミズカマキリ	
	24	ミズムシ	
水質階級Ⅳ （とてもきたない水）	25	アメリカザリガニ	
	26	エラミミズ	
	27	サカマキガイ	
	28	ユスリカ類	○
	29	チョウバエ類	

＜水辺教室の様子＞



